

三重のふるさと体験



南北に長い三重県では、地域ごとに変化に富んだ美しい景観が見られ、それぞれの自然に育まれた恵みも豊富にあります。

また、悠久の歴史の中で培われた文化や工芸品も多種多彩にあり、地域を愛する人々によつて現代に受け継がれています。

今回は、三重県ならではの自然や文化・工芸品作りなどを楽しめる施設を6か所ご紹介いたします。『ふるさと』三重を体験してみたいかがでしょうか。

*各体験施設の営業日時料金予約方法や受け入れ人数などには違いがあり、状況に応じて延期休止する場合があります。事前に必ずご確認ください。

取材・文：中村真由美・中村元美
堀口裕世
撮影：……梅川紀彦・尾之内孝昭
中村元美

ただし※印の写真は取材先から提供していただきました

「いもの鑄物の街」桑名で、本格的な鑄物作り

CASTER HOME

【桑名市安永】

旧東海道の宿場町、桑名藩の城下町として賑わった桑名は、「鑄物の街」としても知られます。鑄物とは、高温で溶かした金属を砂などで作った型の空洞部分に流し込み、冷やして固めた製品のこと。今でも市街地周辺を散策すれば、桑名宗社（通称・春日神社）の青銅の鳥居や、鑄物発展の基礎を築いた本多忠勝の銅像、カラフルなマンホール蓋など、数々の鑄物に出合えます。

市内に存在する鑄物関連企業の中で、「大洋産業株式会社」(影山 彰久代表取



「CASTER HOME」外観



木枠の中に隙間なく砂を詰めていく



完成した歯車型のコースター



藤井 淳さん



鈴木 奈央さん

締役)は、上下水道用の鑄物製品を中心に、鑄造から組立まで一貫生産。高い技術力には定評があります。昨年6月、同社の本社隣に県内初の鑄造体験工房「CASTER HOME」が誕生しました。月に数回程度、箸置きや小皿などの鑄物作り教室が開催されると聞き、スタイリッシュな外観の工房内に入ると、笑顔で出迎えてくれたのは、鑄造部注湯課係長で鑄造体験工房P.J.リーダーの藤井淳さんと、経営企画部HRブランドینگ課主任の鈴木奈央さん。この日は2人

の指導で、コースター作りを体験。木枠の中に置いた歯車型コースターのパーツの上に細かな砂をかけていき、丁寧に詰めていきます。分かりやすい説明に従って作業を進めていくと、いつしか夢中に。子どもから大人まで「砂遊びしているみたい!」と、喜ぶというのも納得です。砂をしっかと固めた後は、パーツを取り除き、空洞部分に溶かしたスズを流し込みます。温度が230度と高温のため、この作業だけはプロに任せます。5分ほど待つと周囲の砂を外すと、銀色のコースターが姿を現しました。ここまで要した時間は1時間程度。同工房では、9月21日(土)に通常開催の手作り体験教室を予定しています。この機会に、桑名が誇る鑄物作り挑戦してみたいかがでしょうか。

お問い合わせ

「大洋産業株式会社」

TEL 0594-22-6792

● 鑄造体験

TEL 090-6220-9688

自然共生型のアウトドアパークで、森の香りと冒険を満喫 フォレストアドベンチャー！ 湯の山

〔三重郡菟野町〕



樹上に設置された遊具「クロッシングウォール」に挑戦

なだらかな稜線を描く鈴鹿の山並みは、北勢地域ゆかりの人々にとって馴染み深い風景といえます。麓に位置する菟野町内には、1300年の歴史を有する湯の山温泉をはじめとして、キャンプ場などの自然体験スポットが揃い、四季折々に多くの人々が訪れます。

平成31(2019)年3月、町内に新たに誕生したのが、フランス生まれのアウトドアパーク「フォ

レストアドベンチャー・湯の山」です。風薫るころに同パークを訪ねると、入口に到着してすぐに、スギやヒノキの香りに気が付きました。見上げるほどの高さの木々の間からは陽の光が降り注ぎ、明るく開放感があります。視線を上に向けると、幾筋ものワイヤーロープと遊具が見えました。



名波 祐希さん

「ワイヤーロープが樹木の成長を阻害しないように、木製の杭で保護してありますよ」と話すのは、同パークを運営する「株式会社森の香り」(大森ユキト代表取締役)の広報、名波祐希さん。名波さんからは、パーク内では、専門家の指導に従って間伐・整備していることなども教わりました。自然との共生や森の新たな価値を見出すことを理念としている同社では、企業研修や修学旅行などの団体向けに「自然体験プログラム」も積極的に受け付けています。

参加者は、初対面同士であっても、自然の中で簡単なゲームなどを体験することで、連帯感や信頼感を高めていくのだと伺いました。

名波さんのお話の後は、実際に体験します。ハーネスの着用を済ませてから、セーフティブリーフィング(安全講習)を受け、用具の使い方や注意点をしっかりと確認します。その後、練習用コースを経て実際のコースへ。約2000平方メートルの広さのパーク内には、大きくわけて体験時間約120分の「アドベンチャーコース」(要予約)と、約30分の「ジップトリップコース」の2種類があ

り、前者にはさらに4種類、後者には2種類のコースがあります。また、それぞれに身長や体重などの利用条件がありますが、ファミリーからカップル、シニア世代まで、体力や時間に応じて選ぶことが可能です。この日は、数種類の遊具に挑戦。最初は緊張して、名波さんのように颯爽と進むことはできませんでしたが、慣れてくるとロープから手を放すこともできるようになりました。最後に名波さんと手をつないで、約100メートルの距離を滑り降りる「ダブルジップスライド」では、体が浮いた感じがして爽快な気分になりました。

7月下旬、同パークは、隣接する里山放置林と合わせて「アドベンチャーパークオドルの森」に生まれ変わりました。里山放置林は、環境に優しい森に整備され、新たに森の中を駆け抜ける「カモシカバギー」の運転ができるようになりました。なお、「オドル」とはラテン語で香りを意味します。森の香りあふれるパークは、これからも自然とともに成長し続けることでしょう。

お問い合わせ

「フォレストアドベンチャー・湯の山」
TEL 059-340-7739



「フォレストアドベンチャー・湯の山」入口



「自然体験プログラム」※



自然との一体感を味わえる



子どもも楽しめる「ジップスライド」※



「ダブルジップスライド」※

※印の写真は取材先から提供していただきました

魅せるファクトリーで、進化した萬古焼土鍋の製造工程を見学・体験

中村製作所

オープンファクトリー

【四日市市下やまのぶ町】



「釉薬漬け込み」体験をする参加者

土鍋・急須・花器…。四日市市を中心とした周辺地域で作られる萬古焼は、魅力あふれる伝統工芸品であると同時に、私たちの暮らしに身近な存在です。中でも、全国シェアの80パーセント以上を占める土鍋は、直火にかけても十分に耐え得る耐熱性と保温性の高さが特徴。冬の風物詩ともいえる鍋料理に欠かせない調理器となっております。

平成30(2018)年、「株式会社 MOLA TURA」が販売開始した「ベストポット」は、萬古焼土鍋の本体と铸件製の蓋との隙間をできる限りなくしたことで、蓄熱調理や

無水調理を可能にした蓄熱調理器です。実現できたのは、親会社である「株式会社 中村製作所」(山添 卓也代表取締役社長)の技術力。宇宙産業の部品加工にも携わる高度な切削技術が、萬古焼土鍋の特徴を進化させることに成功したのです。

昨年6月、同社の自社工場の一画にオープンした「中村製作所 オープンファクトリー」は、従来の閉ざされたイメージを払拭して、魅せる場所をめざした町工場です。広い工場内に足を踏み入れると、まず目を引くのが精密機械。異空間に迷い込んだ感覚



工場内の様子 (右側に精密機械、左側2階がカフェ)



「中村製作所 オープンファクトリー」外観

になりました。2階にはカフェが併設され、「ベストポット」で調理したご飯を味わえる「けずりたてとろろ土鍋ご飯セット」や「四日市カレー(とんてき付き)セット」などの料理をはじめとして、豊富な種類のスイーツを味わうことができます。機械を見下ろしながらの食事は、格別な味がしました。

スタッフに声を掛ければ、無料で工場内を見学することも可能ですが、月に1回程度のペースで工場見学ツアー(1か月前に要予約)が開催されていると伺い、参加することに。内容は随時変わりますが、この日は「ベストポット」で炊いたご飯と肉じゃがの試食も実施。MOLA TURAチームリーダーの石田 琢真(たくま)さんの丁寧な説明を聞いた後、まずは調理を開始します。2つの「ベストポット」

にそれぞれの食材を入れて沸騰するまで待った後は火を止めて、そのままにしま



石田 琢真さん

す。同ポットが蓄えた熱でじんわりコトコト調理している間に工場内見学へ。「圧力鑄込み成型」や「素焼き」などを経て、「切削」に至るまでの各工程を間近に見ることができました。途中、突起部分を削る「バリ取り」や「釉薬漬け込み」は体験も可能。職人が手際よく釉薬に漬け込む様子を見学した後、体験した参加者からは「ムラになっちゃった」「難しいね」との感想が聞けました。機械の技術と職人技が融合した結果が「ベストポット」なのだと思感した後は、試食です。それぞれの蓋を開けた途端に「ご飯の粒が立ってる!」「肉じゃがもおいしそう」と、感嘆の声が上がりました。口にすると、ご飯の旨味を味わうことができた上に、肉じゃがの具材のジャガイモやニンジンなどが芯まで味が染みているのがわかりました。また、新ブランド「レンジスター」による煮魚料理も試食でき、大満足の時間を過ごせました。



「バリ取り」体験



「圧力鑄込み成型」で成型された「ベストポット」



「レンジスター」で調理した煮魚料理



味がしっかり染み込んだ、肉じゃが

なお、工場内では「ベストポット」を手にとり、重さや形などを確認することが可能です。一度、訪ねてみてはいかがでしょうか。

お問い合わせ

「中村製作所オープンファクトリー」(不定休)

TEL 059-329-6777

平安時代のみやびを気軽に いつきのみや歴史体験館

【明和町齋宮】



愛子さまも体験された貝覆い。
対(ついで)の貝を探すのはかなり難しい。

昔、伊勢神宮には、神さまに齋く(お祀りする・仕える)皇女・齋王(神宮では齋宮)さいぐう・いつきのみや)ともいう)がいました。天皇一人に対して一人、未婚の皇女が選ばれるという決まりで、こ

の齋王の住んだ場所を齋宮といひ、現在の地名にもつながっています。広大な敷地には、齋王の住む「内院」や齋宮寮といわれる役所がある「外院」などがあり、たくさんの人々が暮

らしていました。天皇が替わられる度に、新たに齋王に選ばれた皇女とそれに従う大勢の女官や役人たちが、華やかな列を成して都からこの地へと来たのです。これによって齋宮は、神に仕える皇女の暮らす神聖さと、都さながらの雅やかな文化の共存する特別な場所となりました。この齋王の制度は、飛鳥時代から鎌倉・南北朝時代までの約660年にわたって続いたと言います。

「いつきのみや歴史体験館」は、この齋宮の地ならではの平安時代の文化を身近に体験できる場所です。スタッフの出橋岬さんのご案内で館内を見学すると、落ち着いた中に清々しい雰囲気漂っています。「平安時代の『寝殿造り』や古代の役所をイメージし、三重県産のスギとヒノキを用い、釘などを使わない伝統技法で建てられました」と出橋さん。壁



出橋 岬さん

の写真を指して、「今春、内親王の愛子さまがいらしたことや、今年のNHK大河ドラマが平安時代を舞台としていることから来館される方が増えています」。古い文化を伝えるとともに、ホットな話題のスポットでもあるようです。

ここでは、常設の貝覆いや盤双六、蹴鞠、浅沓、小桂などは無料で体験できます。まずは盤双六に挑戦。「遊び方は何通りもあるのですが、昔はこれに賭け、

人の気持ちが変わります。続いて、小桂を羽織らせてもらうと、当時の貴族女性の普段着とはいうものの、華やかな色柄ですつしりと重みがあり、長い裾や袖も現代人にとっては非日常の感覚。子ども用の装束もあり、親子で着用して写真撮影をする来館者も多いそうです。



豪華な装束で気持ちは平安貴族※

を行って夢中になってしまふ人が多く、何度も禁止令が出されたほどでした」との言葉通り、ルールを覚えてもらいながらやってみると面白く、夢中になる平安

機織り体験や土器作りなど有料で申し込みの必要な体験も多数ありますが、中でも人気があるのは平安装束試着体験。豪華な十二単でお姫様の気分になります。最近では、プロのカメラマンやメイクさんに依頼するウェディングプランやフォトプランを選ぶカップルも増

えているそうです。

『源氏物語』や『伊勢物語』『枕草子』などの登場人物がぐっと身近に感じられる体験館です。

お問い合わせ

「いつきのみや歴史体験館」
TEL 0596-521-3890



齋王の乗り物・葱華輦(そうかれん)がお出迎え



盤双六は頭を使うゲーム



浅沓は見かけよりも歩きやすい※



「十二単」の一部である小桂を着用

※印の写真は取材先から提供していただきました

自分だけの小さな庭を飾って植物に癒される時間を おかげ横丁 伊勢路栽苑

【伊勢市宇治中之切町】



体験講師から丁寧に教わる苔玉作りの体験

伊勢神宮内宮前、おはらい町通りの中程に広がる「おかげ横丁」は、江戸から明治期にかけての伊勢路の建築物が移築・

り出した苗の土の量を調整し、ガーゼの上に載せます。「土の上に苔を巻くのでバランスが悪くならないよう、土は半分ぐらいに減らします。真ん中に幹を置いて、ガーゼを糸で巻いて形を整えたら次は苔です。正面を決めたら、その部分に苔のきれいなところを当てましょう。形はまん丸でもしずく型でも好みで仕上げてください。重なる部分の苔はカットして糸を巻いていきます。糸を巻きながら形を整え、飛び出していたり茶色くなった苔をカットすれば完成です。「面白かった、もう一回やってみたい」「愛着が湧くね」と、みなさんそれぞれに満足の様です。

自宅へ持ち

帰ったあとは、明るさと風通し、そして水やりに注意すればよいとのこと。「夏場は毎日、水の



苗を土ごとガーゼで包む



バランスよく形の整った苔玉



会社のグループ旅行で苔玉作り



貯金箱にもなる招き猫の絵付け



招き猫ポットの絵付けとミニプランツ作り

中に苔玉ごと浸けて2、3分置けば中までしっかり水がいき渡ります。乾燥にだけ気をつけて、またあまり水をやりすぎないようにすれば難しくありません」と小滝さん。室内で植物の緑に癒され、また紅葉は葉っぱの色が変化するので、四季の移ろいを感じることができ、気軽に和風庭園の風情が味わえます。

「伊勢路栽苑」の体験コーナーは充実しています。「色遣いが思ってたよりも難しいですね」と絵付け体験をしていたご夫婦。絵の具を使ったのは久しぶりのようです。「お子様も簡単にできる体験も用意していますし、熊野の天然石、那智黒石の磨き体験で箸置きなどを作ったり、



【伊勢路栽苑】

しめる絵付け体験や「おかげ犬」にちなんだ愛犬参加型の体験のほか、気軽に緑を取り入れることができる、苔の体験が人気です。メニューは苔玉作り、苔盆栽作り、それと苔テラリウム作りの3つがあり、苔玉作りにチャレンジする様子を見せていただきました。

まずは好きな植物の苗と皿を選びますが、常緑樹やシダ類などたくさんの方が用意されています。「サクラやウメなどの花物もありますし、モミジなど紅葉するものを選ばれる方も多いですね。山に生える植物から種をとって育てた実生苗もあります。あまり流通しない貴重なもので、ヒメシヤラやクマシデ、ウメモドキなどです」と体験講師の小滝健太郎さんから苗の説明を受けます。工程の一つひとつを、丁寧に指導してくれるので、初めてでも趣のある作品を作ることができます。



小滝 健太郎さん

また節分やひな祭りなどの節句に合わせ、伊勢型紙を使ったオリジナルのタペストリーも作れます」とおかげ横丁広報担当の池田 絢子さん。生地を型染めし、自分好みの色合いに仕上げられるので、季節ごとのインテリアに使えるそうです。



池田 絢子さん

夢中になれる体験がさまざまに用意され、好奇心が満たされる楽しい時間が過ごせます。

お問い合わせ

「伊勢路栽苑」

TEL 0596-2313077

紀伊半島で唯一の海洋深層水の取水施設 アクアステーション

尾鷲市古江町



中庭にある深層水のタッチプール

尾鷲市古江町の国道311号沿いにある「アクアステーション」は海洋深層水の取水施設。三木崎沖の水深415

メートルから汲み上げ、1日の取水能力は2885トンです。海洋深層水は水深200メートル以上深い場所において太陽光が届かず、水温が急激に冷えた層にある海水のことで、海水の約95パーセントを占めています。表層の海水と混ざらない深さにあり、低温安定性・富栄養性・清浄性に優れているという特性を持ち、それを活かして水産分野をはじめ、食品・健康・美容・医療・エネルギー・環境・農業など、多くの分野で活用されています。

「アクアステーション」では「みえ尾鷲海洋深層水」の原水と脱塩処理した計5種類の深層水が提供されていて、企業だ

けでなく、家庭用に炊飯やコーヒーなどの飲料の生活用水としても使うことができます。また大口分水では、活魚運搬のため大きなトラックが給水しています。深層水と表層水は見た目の違いこそありませんが、表層水は夏場に水温が25度を超えるのに対して、深層水は一年を通して14度程度。運搬の水代を抑えることができ、また太陽光が届かない菌のない水であるため、鮮度保持が全く違うようです。

「アクアステーション」の総合交流施設は、尾鷲ヒノキが使われた寛ぎのスペースで、深層水淡水の試飲ができます。館内には取水方法や設備など、海洋深層水に関することが学べるようパネルを展示。また木育ステーションのおもちゃ



「アクアステーション」

やヒノキボールプールも設置され、中庭には海洋深層水のタッチプールがあり、イベント開催時には子どもたちがはしゃぐ賑やかな光景となります。

深層水を身近に感じる体験として「メダカアクアリウム」があります。小さな瓶に海洋深層水のカルマグ水や淡水を汲み入れ、水槽からメダカをすくい上げ、砂やタイル、ビー玉などを入れて水槽を作ります。

もう一つの常設体験が「宝さがし」です。砂の中から鉱石をすくい、気に入ったものを5個まで持ち帰れます。「砂を触っていることでリラクセスできるのか、長時間遊んでいるお子さんいま



淡水の試飲ができる



香りのよいヒノキボールプール



「メダカアクアリウム」



イベント時のワークショップ

す」とスタッフの伊東晋也さん。



伊東 晋也さん

また「アクアステーション」では、月に一度、季節に合わせたイベントを実施しています。音楽ライブやヨガ教室を開いたり、キッチンカーも数台並んで、家族みんなで満喫できる内容です。「深層水のことを市民ははじめ多くの方に知ってもらい、「アクアステーション」へ足を運んでいただくことで海洋深層水の利用率を高めています」と尾鷲市役所海洋深層水推進係の山口翼さん。端午の節句には鯉のぼりが風に揺れ、お

盆の頃になると提灯が並んだり、幅広い世代に喜んでもらえるよう、工夫を凝らしています。

また尾鷲市向井の入浴施設「夢古道の湯」は、原水を希釈した内風呂のほか、ミストサウナには超軟水の淡水が使われています。保温性・保湿性に優れた海洋療法的な効果が期待でき、一般の温泉にはないさまざまな効果も楽しめるということです。ほかにも深層水を使って干物などで商品化したり、調理に深層水を使ったメニューを提供する飲食店もいくつかあり、市内では「深層水」の幟旗を立ててPRしています。



深層水のお風呂「夢古道の湯」※

お問い合わせ

「アクアステーション」
TEL 0597-127-8080
尾鷲市役所商工観光課海洋深層水推進係
TEL 0597-123-8133

※印の写真は取材先から提供していただきました